

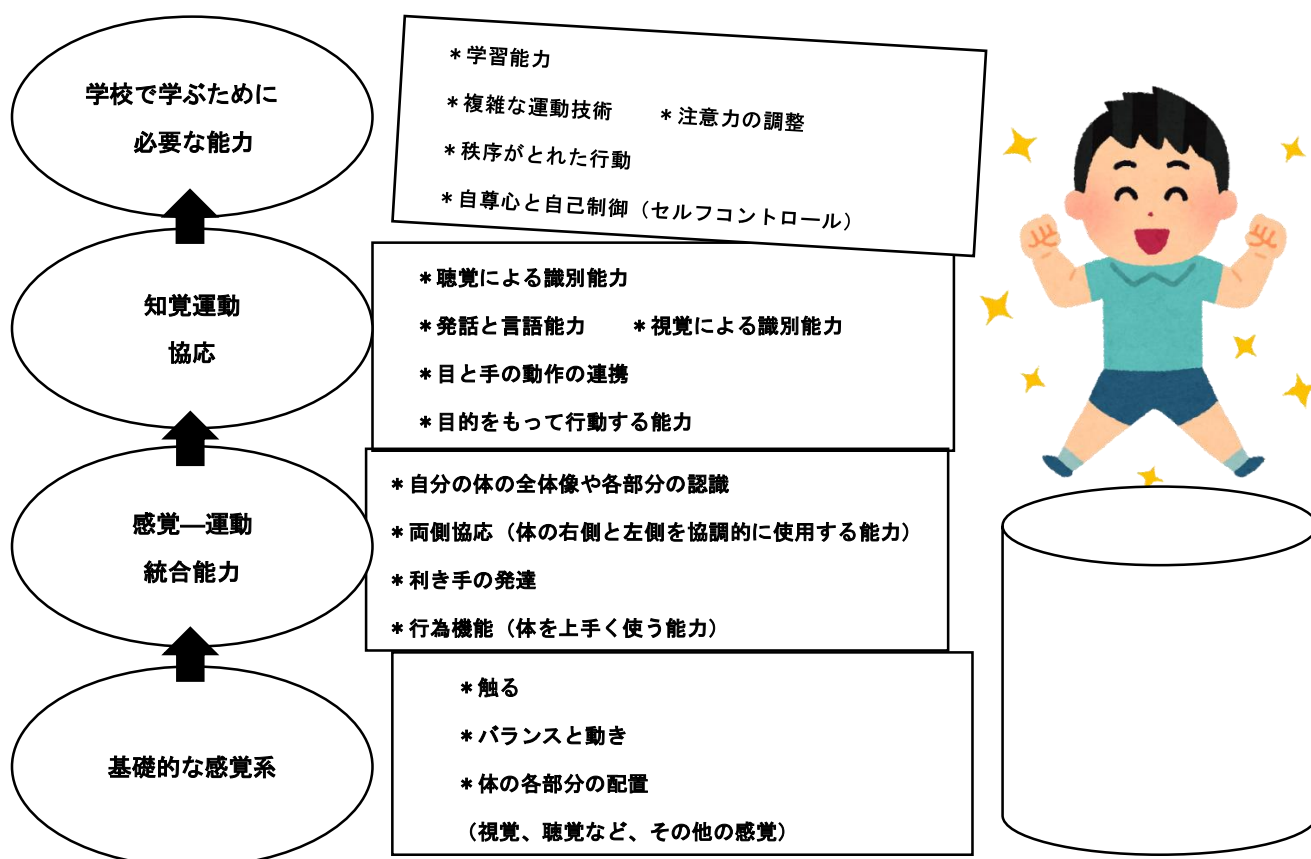
1. 感覚統合療法(Sensory Integration:SI)ってなあに？

感覚統合療法は、アメリカの作業療法士のエアーズ (Ayres,A.J.) が考案したもので、LD や自閉症を含めた発達障害のある子等へのリハビリテーションの一つです。当院は、感覚統合療法を実施する「感覚統合訓練室」を複数所有し、作業療法士が担当し、セラピーを行っています。

2. 感覚統合ってどういうこと？

自分の体を使ったり、道具を使ったり、人とコミュニケーションを取ったり…私たちは、無意識のうちに周りの環境とうまくかかわっています。これは脳に入ってくるいろいろな感覚(視覚、聴覚、触覚…etc.)を、うまく整理したりまとめたりすることができる＝感覚統合がうまくいっているためです。

エアーズは、子どもの感覚の発達を 4 段階に分けて示しました。ブロックを 1 段、2 段、3 段…と積むように、感覚情報処理機能の発達も、基礎的な感覚の発達を基に徐々に高次の発達をとげて、学習能力や運動能力など学校で学ぶために必要な能力を獲得しているのです。



3. 感覚統合がうまくいかないとうなるの？

では、感覚統合がうまくいかないと、どうなるのでしょうか。感覚統合が十分に行われていないと、情緒面、行動面、学習面、対人・コミュニケーション面などでいろんな問題が起こってきます。エアーズは「脳が消化不良を起こしている」、または「脳の中が交通渋滞になっている」状況と表現しています。

例)不器用な子…感覚の発達につまずきがあると、自分の体の動かし方がわからなかったり、物に気付きにくかったり、力加減がわからなかったり、手先を使うことが苦手だったりすることがあります。これは、触覚や視覚、自分の体の配置(動き)などの情報が的確に脳に伝わらず適切な運動が行われない、脳が消化できていない状態なのです。

その他)落ち着きがない、集中力が続かない、疲れやすい、感覚過敏、感覚の受け取りが鈍感、言葉の遅れ、対人関係の問題、我慢が難しい、自信がない…など、色々な困り感が生活の中で現れます。

あれっ！？
ボールどこ？
(視覚)

足に当たったと思うけど…
(触覚)
タイミングよく足出したのに
(体の動き)



4. どのように評価するの？

作業療法士が、

* 遊び場面での行動観察

* 感覚統合検査

* 保護者の方、園や学校の先生からの情報収集

などにより評価します。

5. 実際にどういことをするの？

感覚統合療法では、お子さんの「楽しい！」「やりたい！」という気持ちが大切です。自主的に参加できるよう、お子さんの好きなことや興味に合わせて、体を使った遊びを提供します。そして、「ほどよいチャレンジ」をさせることで、成功体験を積み重ねます。ただ遊んでいるように見えるかもしれませんが、楽しい活動の中でお子さんの感覚の発達を促しているのです。

必要に応じて、家庭や園・学校でできる感覚統合遊び、お子さんの感覚特性に合わせた環境設定などを提案します。お困りのことがあれば、ご相談ください。

また感覚統合が上手いかないと、身辺自立、学習、手先の不器用さが起こってくる場合があります。これらに関して、体を使った遊びだけでなく直接やり方を工夫しながら練習・支援します。